

## 投資事業評価調書(新規)

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 笠岡 良雄 (尾原 勉)	内線	4 3 6 2 ( 4 3 7 6 )
------	-------------------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区 間	総事業費	約 8 億円 (うち用地補償費 3 億円)
		(一) 桑原北山揖保川線 県単独事業	揖保郡揖保川町二塚 L = 5 0 0 m		
所 在 地				着工予定年度	完成予定年度
揖保郡揖保川町二塚				H 1 4 年度	H 1 7 年度
事 業 目 的			事 業 内 容 等		
<p>本路線は、龍野市と揖保川町を結ぶ南北道路であり、龍野市と揖保郡内のゴミを処理する広域ゴミ処理施設(エコロ)及び播磨龍野企業団地への山陽自動車道以南の地域からのアクセス道路となっている。</p> <p>本事業区間は、峠部で幅員狭小な上、縦断及び平面線形が悪く、特に近年大型車交通量の増大により、毎年2～3件の交通事故が発生するなど、非常に危険な状態となっている。</p> <p>そのため、本事業によりバイパス整備を行い、円滑な交通の確保と歩行者の安全を図る。</p>			<p>バイパスによる道路整備 L = 5 0 0 m</p> <p>現況幅員 4.0(5.0)m 1車線</p> <p>計画幅員 6.0(11.0)m</p> <p>2車線 + 3.0m片側歩道</p> <p>縦断勾配の緩和</p> <p>交通量(台/日): 現況 3,900、計画 5,000</p>		
評価視点					
(1) 必要性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・線形不良及び大型車すれ違い困難区間を解消するとともに、自転車歩行者道の整備により、車両及び自転車歩行者の通行の安全性が確保される。</li> <li>・バイパス整備により、通過交通路線が二塚集落から排除され、集落内の良好な住環境が確保される。</li> </ul>			
安全・安心を確保 快適な生活環境をめざす					
(2) 有効性・効率性					
有効性 代替性 効率性 (事業執行環境)					
(3) 環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業により交通の安全性が確保され、交通事故の解消または減少が図られるとともにゴミ処理施設及び企業団地へのアクセスが向上する。</li> <li>・現道拡幅では抜本的な縦断修正が困難であり、沿線に人家及び墓地等が連担していることから、バイパス整備が妥当である。</li> <li>・安全確保から地元住民の要望が強く、協力体制にある。</li> <li>・地元において県道拡幅検討委員会が設置され、積極的な意見交換を行ったことにより、事業への理解と協力が得られる状況にある。</li> </ul>			
(4) 優先性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイパス整備により線形が改善され走行速度が向上し、排出ガス量の減少効果がある。</li> <li>・切土法面を緑化することで環境対策を行う。</li> </ul>			
(4) 優先性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多発する交通事故、幅員狭小、視距不良対策上早期に事業着手が必要。</li> </ul>			
評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。		